

〇〇銀行 〇〇支店御中

株式会社 ABC
代表取締役 山田 太郎

融資のご依頼に際する今後の事業計画について

◆当社の現状(これまでの経緯)

当期に期首より、業者向け販売における単価の値下げ要請があり、業者向け単価は約 15%減少し、販売数量は例年並みで推移いたしましたが、利益率が高い一般向け販売に注力し、数量は前年度比約 20%増加しており、若干利益は減少する見込みですが、年間売上高はほぼ例年通り、〇〇億〇千万円を達成する見込みです。

◆課題

また、当社においては、約 1 年前より業者販売の動向に左右されないよう新聞折込チラシなどを用い一般顧客営業を進め、現状、売上に占める比率は、一般 40%、業者 60%と一般顧客の比率を増加させてまいりました。これまでの一般顧客営業経験から、現状の営業エリアにおいては、この構成比率にて一定のビジネスモデルが構築できたものと考えております。そこで、今後、当社の成長戦略において、営業エリア拡張（新規出店）および一般顧客の新規開拓が最重要課題となっております。

◆今後の取り組み

このような状況の中で、新規出店に関する戦略および独自の一般顧客に対する営業ノウハウ構築を模索していたところ、同業他社にてフランチャイズ展開を構築されており、当社に参画しないかという話があり、当社の一般顧客比率増加戦略【営業エリア拡張（新規出店）および一般顧客の新規開拓】に合致するため、出店することといたしました。

●当社の目的

- ① 営業エリア拡張および「〇〇」進出防御
- ② 一般顧客向け営業ノウハウの獲得
- ③ 人材育成ノウハウの獲得

●当社の戦略

① 出店地・・・〇〇地区

現状の当社営業エリアに重複しない、〇〇地域への拡張。

約 40 坪の店舗兼工場を賃借。

② 「ブランド」名称での営業展開・・・リスクヘッジ

当社が参画せずとも、いずれ、〇〇もしくは、他社において同様のビジネススキームでの当社の商圈エリア展開が容易に予想できる。また、万が一、「ブランド」ビジネスが頓挫した場合でも、「当社」として営業基盤を継承することができ、営業エリアが拡張できる。

③ 営業ノウハウの獲得

〇〇地区で成果を挙げられている「営業手法」を獲得し、当社の経営に良い点を活かす。

④ 人材育成ノウハウの獲得

入社 1 年後には、重要な戦力として活用していると言われる「人材育成研修」を習得し、当社の人材育成に活かす。
また、当社現スタッフの「刺激」となり、相乗効果を見込む。

◆損益、収支計画

株式会社 ABC 損益計画 (平成 19 年 4 月 ~平成 20 年 3 月)

(単位：千円)		<項目>												年間合計	備考(根拠等)
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
売上	業者商品 売上	7,000	6,000	5,500	6,000	8,000	8,000	7,000	7,000	8,000	5,500	6,500	7,000	81,500	
	一般商品 売上	5,000	5,000	3,000	10,000	9,000	10,000	10,000	12,000	12,000	10,000	10,000	10,000	106,000	
	その他、売上													0	
	売上合計 ①	12,000	11,000	8,500	16,000	17,000	18,000	17,000	19,000	20,000	15,500	16,500	17,000	187,500	
売上原価	商品 仕入	2,640	2,420	1,870	3,520	3,740	3,960	3,740	4,180	4,400	3,410	3,630	3,740	41,250	
	商品 仕入②	2,400	2,200	1,700	3,200	3,400	3,600	3,400	3,800	4,000	3,100	3,300	3,400	37,500	
	その他、仕入													0	
	仕入合計 ②	5,040	4,620	3,570	6,720	7,140	7,560	7,140	7,980	8,400	6,510	6,930	7,140	78,750	
売上総利益	売上総利益 (①-②) (A)	6,960	6,380	4,930	9,280	9,860	10,440	9,860	11,020	11,600	8,990	9,570	9,860	108,750	
販売費・一般管理費	人件費	4,500	4,500	4,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	72,000	
	法定福利費	495	495	495	715	715	715	715	715	715	715	715	715	7,920	
	雑給	240	220	170	320	340	360	340	380	400	310	330	340	3,750	
	旅費・交通費	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	3,600	
	広告宣伝費	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	2,400	
	接待交際費	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	600	
	地代家賃			350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	3,500	
	通信費	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	880	
	事務消耗品費	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	840	
	租税公課													0	
	減価償却費													0	
	水道光熱費	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	1,800	
	保険料	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	1,200	
	雑費													0	
その他、経費	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	600		
販売費・一般管理費合計 ③	6,235	6,215	6,515	8,885	8,905	8,925	8,905	8,945	8,965	8,875	8,895	8,905	99,170		
営業利益	営業利益 ((A)-③) (B)	725	165	-1,585	395	955	1,515	955	2,075	2,635	115	675	955	9,580	
営業外損益	受取利息													0	
	雑収入													0	
	その他、収入													0	
	営業外収益 合計 ④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	支払利息	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	1,800	
	雑損失													0	
その他、支出													0		
営業外費用 合計 ⑤	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	1,800		
経常利益	経常利益 ((B)+④-⑤) (C)	575	15	-1,735	245	805	1,365	805	1,925	2,485	-35	525	805	7,780	
特別利益	⑥													0	
特別損失	⑦													0	
税引き前当期利益	税引き前当期利益 ((C)+⑥-⑦) (D)	575	15	-1,735	245	805	1,365	805	1,925	2,485	-35	525	805	7,780	
法人税等	⑧													0	
税引き後当期利益	税引き後当期利益 ((D)-⑧)	575	15	-1,735	245	805	1,365	805	1,925	2,485	-35	525	805	7,780	

株式会社 ABC 収支計画(資金繰り計画) (平成 19 年 4 月 ~平成 20 年 3 月)

(単位：千円)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
<項目> 前月繰越金		3,563	3,728	3,173	13,038	14,750	15,592	16,994	17,396	19,578	22,100	20,892	21,454	-
経常収支	収入	12,000	11,000	8,500	16,000	17,000	18,000	17,000	19,000	20,000	15,500	16,500	17,000	187,500
	手形収入(決済)													0
	その他、収入													0
	経常収入合計 ①	12,000	11,000	8,500	16,000	17,000	18,000	17,000	19,000	20,000	15,500	16,500	17,000	187,500
	買掛金支払い	2,600	2,640	2,420	1,870	3,520	3,740	3,960	3,740	4,180	4,400	3,410	3,630	40,110
	仕入(現金)支払い	2,500	2,200	1,700	3,200	3,400	3,600	3,400	3,800	4,000	3,100	3,300	3,400	37,600
	人件費支払い	5,235	5,215	5,165	7,535	7,555	7,575	7,555	7,595	7,615	7,525	7,545	7,555	83,670
	機械機器リース料													0
	土地建物賃借料	0	0	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	3,500
	水道光熱費	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	1,800
	輸送費													0
	広告宣伝費	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	2,400
	旅費・交通費	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	3,600
	外注費													0
	その他、支出	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	4,200
経常支出合計 ②	11,335	11,055	10,635	13,955	15,825	16,265	16,265	16,485	17,145	16,375	15,605	15,935	176,880	
経常収支過不足(①-②) (A)	665	-55	-2,135	2,045	1,175	1,735	735	2,515	2,855	-875	895	1,065	10,620	
財務収支	借入金			20,000										20,000
	その他、収入													0
	財務収入合計 ③	0	0	20,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000
	借入金返済	500	500	8,000	333	333	333	333	333	333	333	333	333	11,997
	その他、支出													0
	財務支出合計 ④	500	500	8,000	333	333	333	333	333	333	333	333	333	11,997
財務収支過不足(③-④) (B)	-500	-500	12,000	-333	-333	-333	-333	-333	-333	-333	-333	-333	8,003	
設備・税金	固定資産売却													0
	その他、収入													0
	設備収入合計 ⑤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	固定資産購入													0
	税金支払い													0
	その他、支出													0
設備・税金支出合計 ⑥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
設備・税金収支過不足(⑤-⑥) (C)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
総合計 収支 (A) + (B) + (C)	165	-555	9,865	1,712	842	1,402	402	2,182	2,522	-1,208	562	732	18,623	
翌月繰越金		3,728	3,173	13,038	14,750	15,592	16,994	17,396	19,578	22,100	20,892	21,454	22,186	-

◆貴行へのご依頼内容

上記のとおり、売上高増加に伴う、材料仕入資金が見込まれるため、2000万円のご融資（うち、お借入残高800万円をご返済）をいただきたく、60回返済にてお願い申し上げます。